

丸山文庫報告

丸山文庫所蔵資料の公開と利用状況

平石直昭・山辺春彦

丸山眞男文庫資料の整理・公開については、二〇一三年三月までの作業の概要を、『東京女子大学比較文化研究所附置丸山眞男記念比較思想研究センター報告』創刊号から第九号までの各号に掲載しました。今号では、二〇一三年四月から二〇一四年二月までの資料公開と利用状況を記します。資料の整理状況については、今号に掲載した「丸山眞男研究プロジェクト活動報告」中の「(2)丸山眞男文庫所蔵資料の調査研究とデジタルアーカイブ構築」(黒沢文貴執筆)をご参照ください。

I 資料の公開

丸山文庫は、楽譜類の段階的な公開を開始しました。まず、二〇一三年五月に、丸山眞男による書き込み等のない楽譜類を開架書庫に追加しました。閉架書庫に配架されている書き込み等のある楽譜類については、作曲家名がBとWではじまる楽譜一四七冊を二〇一四

年三月に、作曲家名がCからLではじまる楽譜六八冊を同年七月に公開しました。これらはすべて、東京女子大学図書館OPACにて検索できます。書き込み等のある楽譜類は、書き込み等のある図書・雑誌と同じく、東京女子大学図書館内で書き込み等のあるページの電子データを閲覧に供するという形で公開しています。また、二〇一三年一〇月に音声資料の公開を開始しました。以上の資料の閲覧に関しては、丸山眞男文庫ホームページ中の利用案内をご覧ください。

II 利用状況

①資料の閲覧

二〇一三年四月から二〇一四年二月までの間に、のべ八三人の方が丸山文庫資料の閲覧・調査に訪れました。

②丸山文庫の見学

この間、研究者資料アーカイブの調査などを目的として、二〇組の方々が丸山文庫を見学されました。

③取材

・二〇一四年七月一九日にNHK教育テレビ（Eテレ）で放送された番組「戦後史証言プロジェクト 日本人は何をめざしてきたのか 二〇一四年度シリーズ『知の巨人たち』第三回 民主主義を求めて」政治学者丸山眞男」制作のため、同番組スタッフが数度にわたり取材・撮影を行いました。

・二〇一四年一〇月二〇日付『朝日新聞』の記事「はじめての丸山眞男」執筆のため、記者が丸山文庫へ取材に訪れました。

④資料提供

・『猪野謙二書簡・逸文集』への収録希望があったため、丸山文庫所蔵の丸山眞男宛猪野謙二書簡画像を提供しました。

・Isaiah Berlin, *Letters*, vol. 4. への収録希望があった丸山眞男宛アイザイア・バーリン書簡画像を提供しました。

・『現代思想 二〇一四年八月臨時増刊号 総特集丸山眞男生誕一〇〇年』（青土社）のため、「三島庶民大学講義「明治の精神」断片原稿（昭和二十年十二月）」画像を提供しました。

・二〇一四年一〇月三日から一二月三日まで、杉並区立西荻図書館主

催（東京女子大学共催）「丸山眞男生誕百年」企画の一つとして行われた同図書館での展示のため、丸山文庫所蔵資料を提供しました。

III 資料の受け入れ

丸山彰氏より、丸山眞男宛吉野源三郎書簡三通と、丸山眞男宛加藤周一書簡一通をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

IV その他

二〇一四年一月一日、前述の西荻図書館「丸山眞男生誕百年」企画の一つとして、平石直昭・丸山文庫顧問が「丸山眞男の今日的意義について」という題で講演を行いました。